

小樽の外貨両替場所 一目で

樽商大、北陸銀、観光協会が地図

外貨両替のできる場所を説明したマップを作った「おもてなしプロジェクト」のメンバー



小樽商大と北陸銀行小樽支店、小樽観光協会は、外国人観光客向けに外貨両替のできる市内の施設や場所を記した「小樽両替ガイドマップ」を作った。外貨両替のできる金融機関や海外のクレジットカードの使える現金自動預払機（ＡＴＭ）の設置場所、利用時間などをイラストを交えて分かりやすく解説している。

（西出真一朗）

手数料や利用時間も

マップはＢ４判で、１万部作成。両替のできる銀行などを地図で示し、裏面には施設名、利用時間、両替できる通貨や上限を一覧表で説明している。手数料の高さを最大三つの「¥」マーク、手続きの時間の長さも同様に時計マークで表現し、一目で分かる工夫も凝らした。「時間がない時はＡＴＭを使った方が良い」「両替でパスポートが必要な場合もある」などのメモを添えた。

マップ作製は４月、外国人観光客への外貨両替の場所の周知方法について、小樽商大で英文学を教える井上典子教授が北陸銀行小樽支店の担当者から相談されたことを受け、商大と北陸銀、小樽観光協会でつくる「外国人観光客への『おもてなし』プロジェクト」を結成。留学生も含めた商大生７人が、小樽の外国人観光客にアンケートを行って要望を調べ、地図を作製した。

プロジェクトリーダーでイギリスからの留学生のアンドリュー・ミールカンさん（左）は「金融機関の接客の助けになればうれしい」と話している。マップは市内の金融機関やホテル、観光案内所に置く。